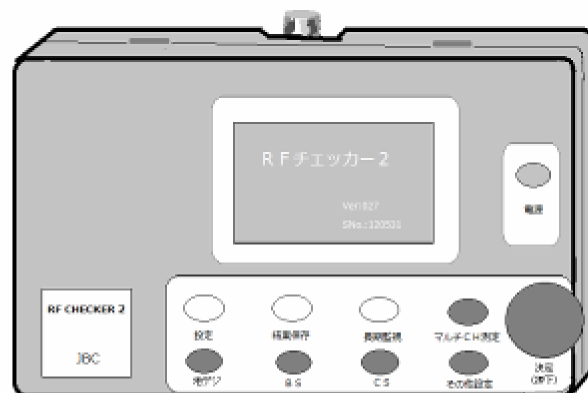
ＲＦＴＶシグナルレベルメーター
ＲＦチェッカー２
取扱説明書



この度は、ＲＦＴＶシグナルレベルメーター ＲＦチェッカー2 をお買い上げ頂き、大変ありがとうございます。
この、『取扱説明書』をよくご覧になり、正しくお使い下さい。
当製品に関するご質問やアフターサービス・ご意見は、お買い上げ代理店またはメーカーへお問い合わせ下さい。
尚、当製品の詳しい内容及び操作方法に関しては弊社ホームページ（http://www.levelmeter.co.jp）にご案内させていただいております。

RF-Checker2 取説 Ver1.02

目次

・はじめに

・ご使用の前に

・使用方法

・その他

安全上のご注意

＊ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守って下さい。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：危険内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。
⚠警告：警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意：注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠危険

- 充電する際は本機専用の AC アダプタを使用して下さい。指定以外の AC アダプタを使用すると発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 濡れた手で充電コネクタを抜き差ししないで下さい。感電する原因となります。

⚠警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認下さい。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないで下さい。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼下さい。
- 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないで下さい。感電や、故障の原因となります。
- 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等異常な状態のまま使用しないで下さい。発火のおそれがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼下さい。
- AC アダプタのコードが傷ついたり、本体が異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止して下さい。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品は防水仕様とはなっておりません。付属の保護ケースに入れて使用の場合でも、水に浸けたり、長時間濡れた状態で放置すると故障の原因となります。

●リチウムイオン電池について

⚠危険

- リチウムイオン電池に直接ハンダ付けしないで下さい。熱により、絶縁物が溶けて、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けて下さい。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠危険

・リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないで下さい。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
・リチウムイオン電池の端子部を針金などの金属で接続しないで下さい。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。リチウムイオン電池がショート状態となり、過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火あるいは針金やネックレスやヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
・リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないで下さい。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
・リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上）で使用したり、放置しないで下さい。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
・リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないで下さい。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、発火する原因となります。
・火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないで下さい。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないで下さい。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないで下さい。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。
・リチウムイオン電池を落としたりまたはその他の理由で外傷や変形の激しいリチウムイオン電池は使用しないで下さい。液漏れ、発熱、発煙、発火の原因となります。

⚠警告

・充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめて下さい。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。
・リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけて下さい。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠注意

・リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。
充電：0℃～45℃
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。
・リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流して下さい。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
・リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。また、使用する際にも、乳幼児が装着した機器から取り出さないようにご注意下さい。
・お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参下さい。

⚠注意

・濡れたリチウムイオン電池は使用しないで下さい。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
・濡れた手でリチウムイオン電池にさわらないで下さい。感電の原因となることがあります。
・通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないで下さい。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

●使用前には必ず充電を行って下さい。
電池残量が少ないと、測定途中で使用できなくなることがあります。

表示部

・表示部を強く押したり、衝撃を与えないで下さい。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・見る角度によっては、偏光特性により画面表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承下さい。
・改良のため予告なく画面表示を変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

リチウムイオン電池の充電に関する注意

・安全のため高温時や低温時は充電しないようにして下さい。充電可能な温度範囲は 0℃～＋45℃になります。

取扱いに関する注意

・ご使用にならない場合は、電源を OFF にして下さい（初期設定ではボタン操作が一定時間以上ないと自動的に電源が OFF になります）。リチウムイオン電池が過放電状態になり、電池寿命を縮めることになります。
・指定された電池以外は使用しないで下さい。故障の原因となります。
・本機を落下させる等、強い衝撃を与えないで下さい。破損や故障などの原因となります。
・本機が汚れたときは、柔らかい布で拭いて下さい。ポリエステルなど静電気が起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないで下さい。
・落下防止のため、付属の保護ケースに入れ吊りベルトを取り付けてご使用下さい。
・本機は防水設定にはなっておりませんので、水に浸けたり、長時間濡れた状態で放置しないで下さい。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法、およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

主な機能について

測定モード

1. シングル CH.測定モード(→ 14 ページ)

   ①地上デジタル放送測定
   ②BS デジタル放送測定
   ③CS デジタル放送測定
   ④FM ラジオ放送測定
   ⑤デジアナ変換放送測定
   ⑥スカパー！光 SD 測定
   ⑦スカパー！光 HD 測定

2. マルチ CH.測定モード(→ 15 ページ)

3. 長期監視測定モード(→ 16 ページ)

   ①シングル CH.測定モード
   ②マルチ CH.測定モード

測定データの保存

1. シングル CH.測定データの保存(→ 20 ページ)

2. マルチ CH.測定データの保存(→ 20 ページ)

3. 長期監視測定データの保存(→ 20 ページ)

設定モード

1. データ管理（保存されたデータの管理）
   (→ 21 ページ)

   ①測定データ閲覧／削除
   ②測定データ全削除
   ③長期監視データ閲覧／削除
   ④長期監視データ全削除

2. 放送局地域設定(→ 12 ページ)

   全国 20 地域の中から当該選択を選択

3. しきい値設定(→ 12 ページ)

   3 つのしきい値データの中から選択

4. 電源 OFF 時間設定(→ 23 ページ)

   何も操作しない状態での自動電源断までの時間を設定

5. 通常時明るさ表示時間設定(→ 23 ページ)

   操作ボタン押下後の通常時明るさ表示時間を設定

6. LCD 明るさ設定(→ 23 ページ)

   節電時／通常時の輝度設定

7. BS／CS　BER 互換モード(→ 23 ページ)

   ON 又は OFF に設定

8. Bit Error Count 設定(→ 23 ページ)

   Pre 又は Post に設定

9. 時計設定(→ 23 ページ)

   本機内部時計の設定
   　年月日／時分秒

10. PC モード(→ 24 ページ)

    ①チャネル情報の受信
    ②マルチチャネル測定プラン情報の受信
    ③測定局情報の受信
    ④測定しきい値情報の受信
    ⑤測定データの送信
    ⑥長期監視測定データの送信
    ⑦日時設定受信

11. ファームウェアのアップデート(→ 24 ページ)

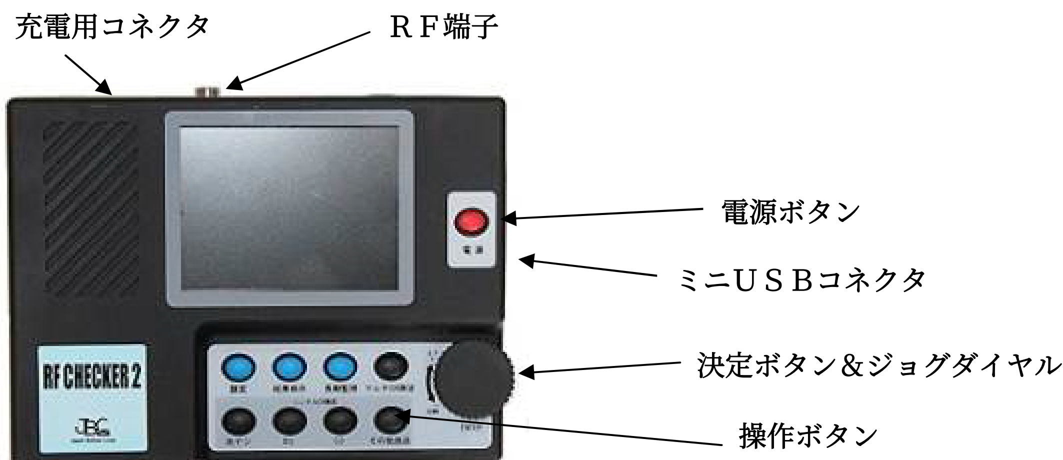
    ファームウェアアップデートの受信

12. 初期化(→ 24 ページ)

    設定モードで変更した値を出荷時設定に戻します。

各部の名称と働き

本体



1）電源ボタン

電源 OFF 状態でボタンを押すと、システム電源が入ります。
電源 ON 状態で 2 秒以上押し続けると電源が切れます。

2）液晶パネル（3.5 インチカラー　240×320dot　日本語 ）

モード、チャネル名、測定データ、データ設定、データ保存等の表示を行います。

3）　操作ボタン

①『地デジ』　：地上デジタル放送のシングル CH.測定モード。
②『BS』　：BS 衛星放送のシングル CH.測定モード。
③『CS』　：110°CS 放送のシングル CH.測定モード。
④『その他放送』　：ＦＭラジオ･デジアナ変換･スカパー！光 SD･スカパー光！HD の測定を選択。
⑤『設定』　：データ管理の設定・測定データ閲覧及び削除。
⑥『結果保存』　：各データの保存。
⑦『長期監視』　：全ての測定モードで、設定された条件で連続測定を行う。
⑧『マルチ CH.測定』：保存してあるプランで指定した放送チャネルを連続して測定。
⑨『決定』　：各々のデータを『決定』ボタンを押して決定。
画面内のカーソル移動は『決定』ボタンを UP・DOWN にまわして各部の選択決定。

＊スカパー！光 SD、スカパー！光 HD はスカパーJSAT 株式会社の登録商標です。

4）コネクタ

① RF 端子（F コネクタ）
② ミニ USB コネクタ
③ 充電用コネクタ

付属品

1）本体
2）保護ケース
3）吊り紐
4）専用 USB ケーブル
5）充電池(本体内部に装着済）
6）専用 AC アダプタ
7）取扱説明書(本書）

リチウムイオン電池の取り付け/取り外し

リチウムイオン電池の取り付け

1. 電池カバーを外す
   ①方向に押しながら②方向に引く。



2. 電池の接続コードが上側で、電池のラベルが下面になるように本体に収納。



3. 電池の接続コードに、本体のコードを差し込む(逆差し防止の溝に注意）。



4. 電池カバーを取り付ける
   ①方向に押しながら②方向に押す。
   ロックした事を確認。



リチウムイオン電池の取り外し

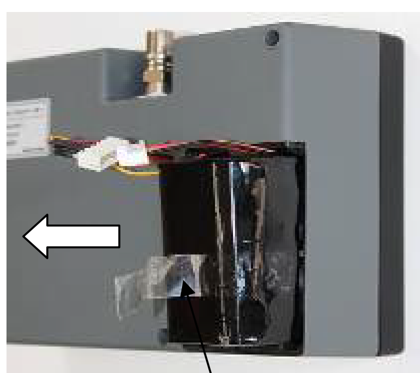
1. 電池カバーを外す
   ①方向に押しながら②方向に引く。



2. 電池の接続コネクタを左右に引いて外す。



3. ①の電池シート取っ手を持って、電池本体を②の上方に抜く。



充電について

リチウムイオン電池を充電する

付属の専用 AC アダプタを使用して充電します。充電前に本体内にリチウムイオン電池がセットされている事を確認して下さい。(専用 AC アダプタ以外では充電できません。ご注意下さい。)

1. 本体上部の充電用コネクタ①に専用 AC アダプタのジャック②を差し込む。



②

①

2. 専用 AC アダプタ③を AC100V コンセントに差し込む。

④

③



充電中は、充電器の LED④が赤色に点灯。

充電が完了すると緑色に変わります。

3. 充電が完了したら、専用 AC アダプタをコンセントから抜き、本体からジャックを抜く。

＊本機の充電可能温度範囲は 0～＋45℃です。安全のため高温時や低温時は充電を避けて下さい。

バッテリー残量表示について

バッテリーの残量は画面右上に表示されます。
通常は時刻表示となっていますが、電源ボタンを押したときに、5 秒間表示されます。

100%	表示例
70%以上	充分残っているとき
40～70%	少なくなっているとき
20～40%	ほとんど残っていないとき
20%以下	充電が必要なとき

●使用可能時間の目安

満充電(約 8 時間の充電）で約 4 時間(連続通電）。

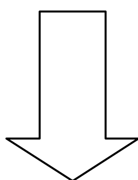
＊使用状況によっては、使用可能時間が短くなる場合があります。
＊充電しても使用可能時間が短くなった場合は、新しい専用のリチウムイオン電池を購入して下さい。
＊本機は、専用 AC アダプタで使用する事もできます。(但し充電電池は抜かずに必ず本体内に接続した状態で使用して下さい。)

電源について

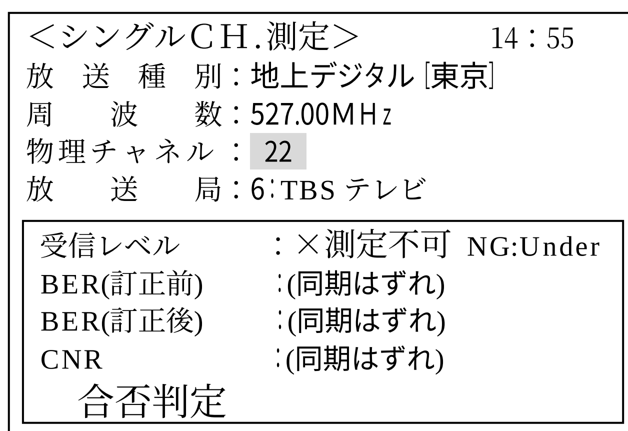
電源をＯＮする

1. **電源ボタンを約 2 秒以上押す。**
   電源が ON になり、下記の画面が約 2 秒間表示されます。





＊地上デジタル、BS、110°CS の**いずれかの**※
シングル CH.測定画面に移行。



※いずれかの
前回電源を OFF した時にシングル CH 測定、(地上デジタル、BS、110°CS)を行っていた場合には、当該のシングル CH.測定モードへ。それ以外の時は、地上デジタルシングル CH.測定モードとなります。

電源をＯＦＦする

1. **電源ボタンを約 2 秒以上押す。**
   電源が OFF になります。

自動電源ＯＦＦ機能

ボタン操作が**一定時間**※以上ないと電源を自動的に OFF にしてバッテリーの消耗を防ぎます。

※**一定時間**は変更できます。(→ 23 ページ参照)
※長期監視モード、PC モードの場合、自動電源 OFF 機能は働きません。

地　域　選　択

本機は放送局名を表示するために、各地域の放送局名があらかじめ登録されています。
ご使用になる前に、ご自分の地域を選択決定して下さい。
適切な地域がないとき、放送局名の表示が正しくないときは、PC モードにより地域の編集を行って下さい。

設定ボタンを押し、決定ボタンのジョグダイヤルを回し、カーソルを放送局地域設定に合わせ、決定ボタンを押します。
地域番号にカーソルが移動しますので、ジョグダイヤルを回し、該当地域を選び出し決定ボタンを押します。

＊一度決定された地域は電源を切っても変更される事はありません。
＊スカパー！光 SD、スカパー！光 HD の測定時には放送局名は表示されません。

合否判定しきい値選択・設定

しきい値は 3 つの中から選ぶことで設定することができます。
使用するしきい値を選択し決定ボタンを押します。

＊しきい値は PC モードから編集できます。

各　種　設　定

本機は、以下の設定を変更する事ができます。

・放送局地域設定
・しきい値設定
・電源 OFF 時間設定
・通常時明るさ表示時間設定
・LCD 明るさ設定
・BS／CS　BER 互換モード
・Bit error Count 設定
・時計設定

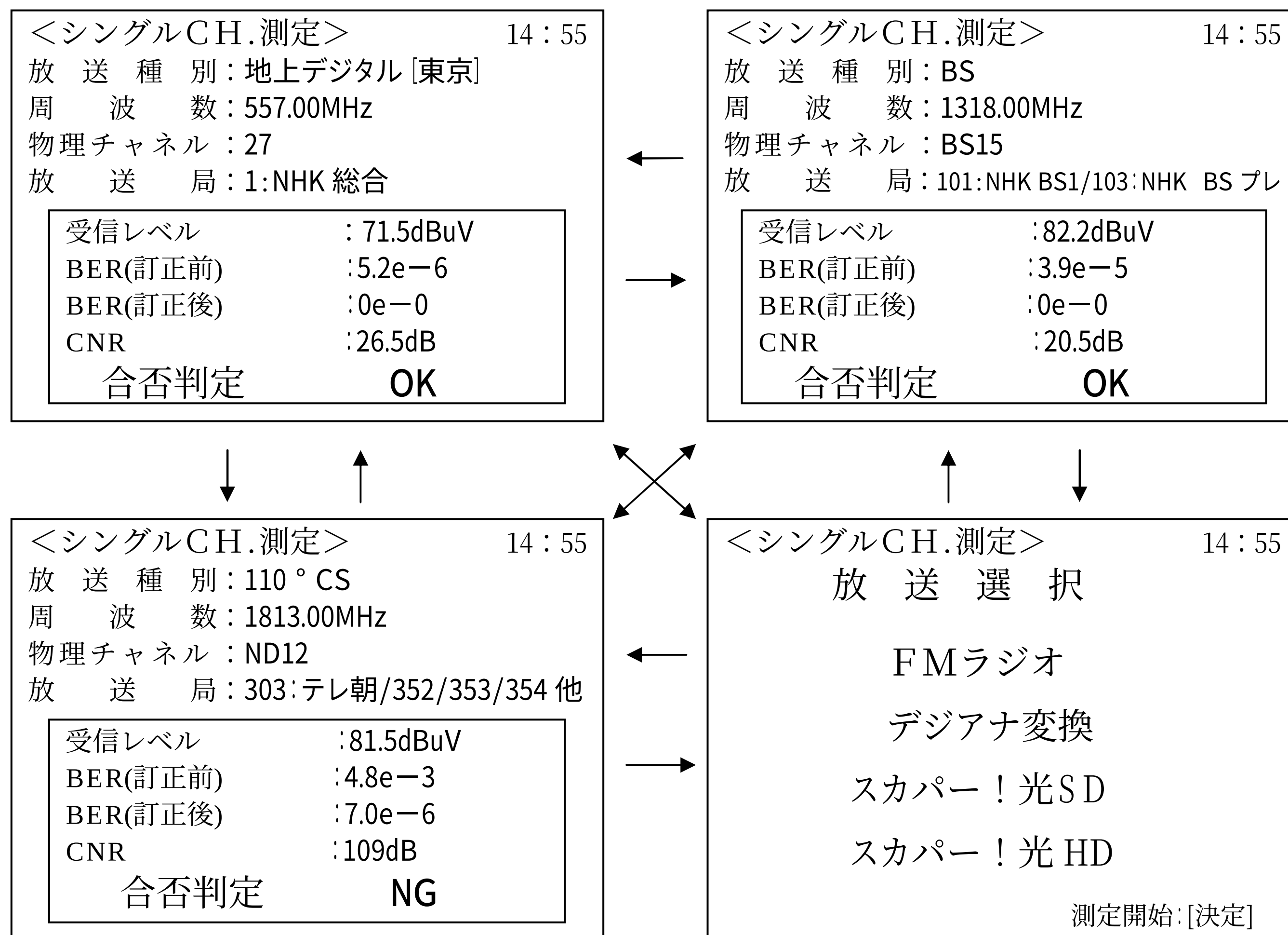
＊これらの操作方法については(→ 23 ページ参照）して下さい。

・PC モード
・ファームウェアアップデート
・初期化

＊これらの操作方法および必要な PC 用ソフトウェアのダウンロードについては、弊社ホームページ（http://www.levelmeter.co.jp）を参照して下さい。

シングルＣＨ.測定

単独チャネルの測定モードで、地上デジタル、BS、110°CS、FM、デジアナ変換、スカパー！光 SD、スカパー！光 HD の各チャネルを測定できます。



a.) 地デジ／BS／CS／その他の放送　各々のボタンで各名称のシングル CH.測定画面に移行出来ます。
b.) 各々のシングルＣＨ測定画面でカーソルはチャネル上にありますので、『決定』ボタンのジョグダイヤルを矢印の方向にまわして測定チャネルの変更が出来ます。
c.) シングル CH.測定の測定が終了しますと、合否判定が“ＯＫ”または“ＮＧ”で表示されます。
d.) シングル CH.測定が完了しましたら、データの結果を保存する場合は『結果保存』ボタンを押します。
e.) 本器を何も操作しないで一定時間（設定変更可能）放置しますと、自動電源 OFF 機能が働き自動的に電源が切れます。

マルチＣＨ.測定

複数チャネルの測定モードで、あらかじめ登録されたプラン(16 プラン）より選択し、測定する事が可能です。

操作方法

マルチ CH.測定ボタンを押すと、プラン選択画面が表示されます。

＜マルチCH.測定＞　14：55
＊プラン選択＊
1　(例)FTV 東京全 CH
2　(例)開通試験 CH
3　BS/CS 全 CH
4　BS 全 CH
5　CS 全 CH
6
7
8
長期監視 : [長期監視]　測定開始 : [決定]

カーソルを決定ジョグダイヤルで移動させ、決定ボタンを押すと、当該プランにて、測定が開始されます。

マルチＣＨ.測定中画面

＜マルチCH.測定＞　14：55
プラン名：(例)開通試験ＣＨ
総合判定 ：ＯＫ／ＮＧ　(3/7)

放送	レベル dBuV	BER (訂正前)	BER (訂正後)	CNR	判定
F76.1	Lo.				NG
A1	Lo.				NG
A12					
S42					
D27					
BS1					
BS15					

マルチ CH.測定中!!　中断：[設定]

登録されているチャネルを順次測定し、測定結果を表示します。登録された全チャネルの測定が終了すると、総合判定欄に OK／NG が表示されます。

注）放送欄の先頭記号は下記の種別を表します。
（F…FM 放送、A…デジアナ変換、D…地上デジタル、S…スカパー！SD
H…スカパー！HD、BS…BS 放送、ND…110 ° CS 放送）

長　期　監　視

ある特定のチャネルを長時間に渡って、自動測定ができるモードです。

シングル CH.長期監視測定

それぞれのシングル CH.測定モード画面を選択し、その CH.の長期測定が可能です。
ここでは例として地デジ測定の場合を表します。

＜シングルＣＨ.測定＞　14：55
放　送　種　別：地上デジタル [東京]
周　　波　　数：527.00MHz
物理チャネル：22
放　　送　　局：6:TBS テレビ

受信レベル　：×測定不可　NG:Under
BER(訂正前)　:(同期はずれ)
BER(訂正後)　:(同期はずれ)
CNR　:(同期はずれ)
合否判定

測定条件を設定

上図画面で長期監視ボタンを押します。

＜シングルＣＨ.測定(長期監視)＞14：55
放　送　種　別：地上デジタル [東京]
周　　波　　数：473.00MHz
物理チャネル：22
放　　送　　局：6:TBS テレビ

長期監視測定開始
測定時間　10 分
エラーカウント　Pre
時間設定　2012-06-08
14：55：52
データ管理　残メモリ：99%
22 日 17 時間 46 分

左記の画面で決定ボタンのジョグダイヤルを回してカーソルを動かし測定条件を設定する事ができます。

① 測定間隔
ウエイト無しから、3 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、3 分、5 分、10 分、30 分、60 分の選択が可能。

② 時間設定
現在時間の設定ができます。

③ データ管理
残メモリの表示と①の設定間隔で最大保存できるおおよその時間を表します。

測定を開始する

前項で条件設定を終えたらカーソルを長期監視測定開始に合わせ決定ボタンを押します。

＜シングルＣＨ.測定（長期監視）＞ 14：55
放　送　種　別：地上デジタル　　527.00MHz
　　⑵２　　　：6：TBS テレビ
開　始　日　時：2012 年 06 月 08 日 14 時 55 分 01 秒
監　視　時　間：0 日 0 時間 2 分(10 秒間隔)

測定日時	レベル dBuV	BER (訂正前)	Bit Error	CNR	判定
06-08 14:55:51	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:56:01	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:57:11	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:57:21	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG

［実行中］(13)　　あと 22 日 17 時間 44 分　中止:設定長押

上記画面が表示され測定を実行します。

測定の中止

前項画面にて、設定ボタンを 3 秒間押し続けると、測定中止確認メッセージが表示されます。

＜シングルＣＨ.測定（長期監視）＞ 14：55
放　送　種　別：地上デジタル　　527.00MHz
　　⑵２　　　：6：TBS テレビ
開　始　日　時：2012 年 06 月 08 日 14 時 55 分 01 秒
監　視　時　間：0 日 0 時間 2 分(10 秒間隔)

測定日時	レベル dBuV	BER (訂正前)	Bit Error	CNR	判定
06-08 14:55:51	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:56:01	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:57:11	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG
06-08 14:57:21	×××	×××	XXXXXXX	××	OK/NG

再度［設定］ボタンを押すと中止します　　　再開［決定］

測定中止確認メッセージが表示されているときに再度設定ボタンを押すと測定を中止し、元のシングル CH.測定画面に戻ります
3 秒以内に設定ボタンを押さないときは自動的に測定へ戻ります。

マルチ CH.長期監視測定

マルチ CH.測定ボタンを押すと、プラン選択画面が表示されます。

＜マルチCH.測定＞　14：55
＊プラン選択＊
1　(例)FTV 東京全 CH
2　(例)開通試験 CH
3　BS/CS 全 CH
4　BS 全 CH
5　CS 全 CH
6
7
8
長期監視 : [長期監視]　測定開始 : [決定]

測定プランの選択

ジョグダイヤルを回して、測定プランを選択。測定するプランにカーソルがある事を確認して、長期監視ボタンを押します。

＜マルチCH.測定(長期監視)＞　14：55

プラン名：(例)開通試験 CH.

長期監視測定開始

測定時間	10 分
エラーカウント	Pre
時間設定	2012-06-08
	14：55：06
データ管理	残メモリ：90%
	64 日 22 時間 5 分

＊測定条件の設定は、シングル CH.長期監視測定の項を参照して下さい。

測定を開始する

前項で条件設定を終えたらカーソルを長期監視測定開始に合わせ、決定ボタンを押します。

＜マルチＣＨ.測定(長期監視）＞　　14：55
プラン名：(例)開通試験 CH.
総合判定：
開始日時：2012 年 06 月 08 日　13 時 58 分 30 秒
監視時間：0 日 0 時間 1 分(10 分間隔)

放送	レベル dBuV	BER (訂正前)	BER (訂正後)	CNR	判定
F76.1	×××	×××	×××	××	**OK/NG**
A1					
A2					
S42					
D27					
BS1					
6 月 08 日 14 時 00 分 12 秒				**OK**［1 回目］	

実行中［21］　あと 64 日 22 時間 25 分　中止:設定長押

測定の中止

前項画面にて、設定ボタンを 3 秒間押し続けると、測定中止確認メッセージが表示されます。

＜マルチＣＨ.測定(長期監視）＞　　14：55
プラン名：(例)開通試験 CH.
総合判定：
開始日時：2012 年 06 月 08 日　13 時 58 分 30 秒
監視時間：0 日 0 時間 1 分(10 分間隔)

放送	レベル dBuV	BER (訂正前)	BER (訂正後)	CNR	判定
F76.1	×××	×××	×××	××	**OK/NG**
A1					
A2					
S42					
D27					
BS1					
6 月 08 日 14 時 01 分 12 秒				**OK**［1 回目］	

再度[設定]ボタンを押すと中止します。　再開［決定］

測定中止確認メッセージが表示されているときに再度設定ボタンを押すと測定を中止し、元のマルチ CH.測定、プラン選択画面に戻ります。
3 秒以内に設定ボタンを押さないときは自動的に測定へ戻ります。

測定データの保存

シングルＣＨ.測定の保存

シングルＣＨ．測定中に結果保存ボタンを押すと、測定データを保存します。

＜シングルＣＨ.測定＞ 14：55
放 送 種 別：ＢＳ
周 波 数：1087.84MHz
物理チャネル ：ＢＳ3
放 送 局：191：WOWOW/171：BS-japan

受信レベル
BE

測定結果を保存しました。
保存No. 002

戻る『決定』 データ管理『設定』

＊ 測定データの保存管理は
シングル CH.とマルチ CH.を
合わせて最大 100 件までです。

マルチＣＨ.測定の保存

マルチＣＨ．測定終了後に結果保存ボタンを押すと、測定データを保存します。

＜マルチＣＨ.測定＞ 14：55
プラン名：BS 全 CH
総合判定： (11/11)

放送	レベル dBuV	BER (訂正前)	BER (訂正後)	CNR	判定
BS1					
BS3					
BS5					
BS7					
BS9					
BS1					
BS1					
BS1					

測定結果を保存しました。
保存No. 002

戻る『決定』 データ管理『設定』

＊ 測定データの保存管理は
シングル CH.とマルチ CH.を
合わせて最大 100 件までです。

長期監視測定の保存

長期監視モードで測定した結果は保存しなくても中止した時に自動的に保存されます。
保存された測定データは＜データ管理＞の長期監視データ閲覧にて確認、消去できます。

保存データの管理

シングル CH.測定、マルチ CH.測定、シングル CH.長期監視、マルチ CH.長期監視等で、一時的に保存された測定データを閲覧／削除等する事ができます。

＜データ管理＞

測定データ閲覧／削除
測定データ全削除
長期監視データ閲覧／削除
長期監視データ全削除

測定データ保存数　：　件　残メモリ：　%
長期監視データ保存数：　件　残メモリ：　%
戻る［設定］

設定ボタンを押し、カーソルをデータ管理に合わせ決定ボタンを押します。



シングル CH.・マルチ CH.測定データの閲覧

カーソルを測定データ閲覧／削除に合わせ決定ボタンを押します。



＜測定データ一覧＞　9：11

№	放送/マルチ	CH/プラン	測定日時	判定
1	地デジ	13	06-06 14:19:36	OK
2	BS	BS15	06-07 15:14:53	NG
3				
4				
・				
・				
10				

測定値表示『決定』　削除『結果保存』　戻る『設定』

左記画面にて、閲覧したい項目にカーソルを合わせ決定ボタンを押します。



＜測定データ閲覧（シングル CH.）＞　9：12

測定日時	2012-06-08 14:53:00
放送種別	BS
周波数	1318.00MHz
物理チャネル	BS15
放送局	101:NHK BS1/103:NHK BS プレ
受信レベル	82.4dBuV
BER(訂正前)	3.9e－5
BER(訂正後)	0e – 0
CNR	20.5dB

合否判定　ＯＫ

戻る『決定』

確認画面が終了したら、決定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

測定データの削除

前項の測定データ一覧画面で、削除したい項目にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

測定データの全削除

前項のデータ管理画面で、カーソルを測定データ全削除に合わせ、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

長期監視データの閲覧

＜長期監視データ一覧＞　9：15

№	放送／マルチ	CH／プラン	監視開始日時
1	BS	BS1	06-07　11:01:49
2	CS	ND2	06-08　10:25:14
3			
4			
5			
6			
7			

測定値表示［決定］　削除［結果保存］　戻る［設定］

前項データ管理画面でカーソルを長期監視データの閲覧に合わせ決定ボタンを押します。



左記画面にて閲覧したい項目にカーソルを合わせ決定ボタンを押します。



＜長期監視閲覧(シングルCH.）＞
放送種別　：BS
(BS1)　151：BS 朝日／161：BS－TBS
開始日時　：2012 年 06 月 08 日　10 時 25 分 14 秒
開始時間　：××日××時間××分(3 秒間隔)

測定日時	レベル dBuV	BER (訂正前)	Bit Error	CNR	判定
06-08 10:25:17	××	××	XXXXXXX	××	OK

戻る［決定］

確認が終了したら、決定ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

長期監視データの削除

長期監視の測定データの削除は、最新の測定データからの削除となります。
前項の長期監視データ一覧画面で削除したい項目にカーソルを合わせ決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

長期監視データの全削除

前項のデータ管理画面でカーソルを長期監視データ全削除に合わせ、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

設 定 に つ い て

本機では、地域選択、しきい値設定の他に以下の設定機能があります。
あらかじめ製品出荷時には初期設定されていますが、変更したい場合は変更可能です。

設定ボタンを押します。
設定画面上でカーソルを設定したい項目に合わせ決定ボタンを押します。

電源ＯＦＦ時間設定

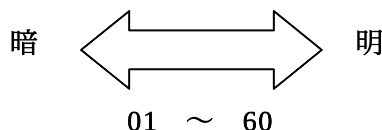
何も操作しない状態で一定時間後には自動電源 OFF となります。その一定時間を変更できます。
常時 ON から最大 10 分まで 1 分単位で設定できます。

通常時明るさ表示時間

いずれかの操作ボタンを押すと一定時間通常設定の明るさとなります。その一定時間を変更できます。
常時 ON／常時 OFF から、最大 60 秒まで 1 秒単位で設定できます。

ＬＣＤ明るさ設定

LCD 全体の明るさ調整で下記の 2 つの状況を別個に設定できます。
　節電時
　通常時
それぞれ 01～60 まで設定できます。



ＢＳ/ＣＳ ＢＥＲ 互換モード

BS、CS については BER の検出位置を変更できます。
ON の場合、　Pre はビタビ復号前
　　　　　　Post はビタビ復号後
OFF の場合、　Pre は RS 復号前
　　　　　　Post は RS 復号後

Ｂｉｔ ｅｒｒｏｒ Ｃｏｕｎｔ設定

BER 測定と同時に Bit error Count※ も測定します。
その測定を Pre で行うか Post で行うかを設定できます。
この設定はシングル CH.測定/マルチ CH.測定のときのみ有効です。
長期監視モードのときは、長期監視測定開始時に設定するエラーカウント設定により選択します。

注）※Bit error Count とは、ある一定のパケット数(地デジでは 2 の 15 乗パケット)の中のエラーの数をカウントするもので、本機特有の機能です。
(ただし PC モードでデータ取得した場合だけ確認可能）

時計設定

本機に内蔵されたカレンダー時計を設定できます。
日付：yy／mm／dd　　時間：hh／tt／ss

ＰＣモード

PC に接続すると、PC より以下の事ができます。

測定パラメータ設定

・チャネル情報設定
・マルチチャネル測定プラン情報設定
・放送局情報設定
・測定値しきい値情報設定

測定データの取り込み

・測定データの PC への転送
・長期監視データの PC への転送

システム設定

・日時　ボーレート設定

ファームウェアアップデート

PC に接続すると、本機のファームウェアをアップデートできます。

これらの機能については、弊社ホームページ
(http://www.levelmeter.co.jp)を参照して下さい。

初期化（出荷状態）

本機のメモリ状態を製品出荷状態に初期化する事ができます。
登録された全ての情報が初期化されますのでご注意下さい。

アフターサービスについて

■**保証書**

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管して下さい。

■**保証期間**

お買い上げの日から１年間です。

■**修理を依頼されるとき**

※点検や修理の際、設定内容やデータが消去される場合があります。必ずお客様ご自身で事前に控えを残しておいていただきますようお願いいたします。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承下さい。

●**保証期間中のとき**

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参下さい。保証書の規定に従って修理いたします。

●**保証期間が過ぎているとき**

販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■**アフターサービスなどについてご不明な点は**

お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

こ ん な と き は

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認下さい。

症　状	確　認　内　容
電源が入らない	・電池残量がなくなっていませんか。充電して下さい。
充電ができない	・リチウムイオン電池が寿命の可能性があります。充電電池を交換して下さい。
測定が不安定	・RF 端子接続がゆるんでいませんか。

主　な　仕　様

周波数範囲 及び測定項目	放送種別	周波数範囲	測定項目
	FM ラジオ	70〜90MHz	レベル
	デジアナ変換	90〜770MHz	レベル
	地上デジタル	470〜770MHz	レベル、BER、CNR
	スカパー！光 SD	90〜770MHz	レベル、BER、CNR
	スカパー！光 HD	90〜770MHz	レベル、BER、CNR
	BS デジタル ＊	1032〜1489MHz	レベル、BER、CNR
	110°CS ＊	1593〜2073MHz	レベル、BER、CNR
	＊：15V 給電機能はありません		
入力インピーダンス	75Ω(F 型コネクタ）		
入力範囲	40〜100dBuV (地上デジタルのみ 34〜100 dBuV)		
電源	充電池(リチウムイオン)　AC100V		
電池の寿命	フル充電連続使用時で約 4 時間		
寸法・重量	165mm(W)×51mm(D)×122mm(H)・約 700g(リチウムイオン電池込み)		
温度	動作時	0℃〜45℃	
	保存時	−20℃〜70℃	
湿度	動作時	85%以下	
	保存時	95%以下	

保　証　書

保証書

製　品　名：　ＲＦＴＶシグナルレベルメーター　ＲＦチェッカー２

お買い上げ年月日：　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

日本バラスト株式会社
横浜市戸塚区前田町 390－5
TEL045－825－3101　Fax045-821-6167

販　売　店　：